

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

木々に感謝しよう！

現代の生活のなかで誰もが真のくつろぎを感じることができる必須条件は何か？
それは“木々”と“水”の存在である。この状況は洋の東西を問わず世界共通の傾向である。なぜか！

地球の誕生	46億年前
海の誕生	38億年前
生命の誕生	35億年前
木の誕生	4億年前
地球全体の森林化	3億年前、陸上動物が急速に多種多様化
人類の起源誕生	500万年前

“海”と“木”、これらが人類誕生の環境を生んだものであり、現代人の DNA においてもそれが刻み込まれているからだと考えられる。

“木”は3億年前から岩石だらけの陸地を豊かな土壌に開墾し、陸上のありとあらゆる生物、動物たちが生活できる環境をつくり、そして陸上のいろいろな有機物を川から海に供給し、貝や魚類が生活できるようにしてきた。木々は約3億年という想像を超える長い時間を生き、進化している。木々には頭脳はないが、生きる意志、日射、温度、風、水、時間、外敵の接近などの知覚能力とその対応能力、木そのものの状態把握機能などが備わってきたようである。

古代においては、世界の多くの民族では木々は地と天空をつなぐ要素の一つとされた。木々はその歴史から強く、長い生命力の象徴ともされた。インドでは樹液は地母神の乳とされたとのことである。日本では神社の神殿を取り囲むように巨木が残されていることが多い。長野県の諏訪大社では1000年を遥かに超える歴史を有する御柱祭が現代にまで受け継がれている。御柱祭では樹齢150年を超える長大なもみの木16本を山から切り出し、里を人力で曳行し、川を渡り、神殿まで運搬、そして神殿のまわりに柱を据えつける。これらの大木は“山の神”として崇められ、“山の神が里に降りてこられた”と謳われる。この御柱祭は地域では諏訪大社の7年に一度の神事であり、参加することが名誉で地元民の絶対的な義務となっている。大木を取り扱うため、命がけの作業となり、毎回のように死者がでるがそれが問題となることはない。この現実
は人間と“木”の関わりを端的に示すものではないか。

古代、北欧、ロシアなど世界の各地で巨木、巨岩などを神として敬う慣習があったが当時は大自然の脅威のなかで生きぬくための人類共通の生きざまだったと思われる。
現代においては人類の文明による地球温暖化／自然破壊を救ってくれるのは“木々”と“海”しかなくなりつつある。木々は500万年前に人間を誕生させ、現代においては地球を救う努力をしている。今こそ古人のように木々に感謝しようではないか！！！！

ZFC 池澤正秀

1. 11月及び12月の主な活動報告

- 11月25日(土) 22名 たたら製鉄実施(担当 関根他)、池ノ上草刈、ドラム缶窯炭入れ他準備、SF準備、センターへ薪運搬、道具整備、ZFC通信印刷発送
- 11月29日(水) 10名 炭小屋内作業(たたら製鉄検証会、小屋裏薪割り片付、ドラム缶窯温度計用加工と補修、SF準備など)
- 12月 2日(土) 17名 クヌギ林草刈、WC前林伐倒材の搬入、ドラム缶窯補修、SF準備
3名 作業研修会参加(星隈、小西、谷垣)於:横浜市環境活動支援センター
- 12月 6日(水) 7名 炭小屋内作業(製材、ドラム缶窯補修と炭焼き段取り、SF準備など)
- 12月 9日(土) 17名 ドラム缶炭焼き(担当 谷垣、星隈)、ホダギ伐倒、クヌギ林草刈、炭小屋裏倉庫片付 SF準備 炭焼き 8:30 集合 9:00 火入れ 午後5時密閉
- 12月13日(水) 12名 炭小屋内作業(SF準備、横浜市貸出品の引き取りなど)
- 12月16日(土) 22名 炭小屋裏杉伐倒、クヌギ林草刈、SF準備、運営会、ゴロ報印刷発送、注連縄作り、忘年会(15時~17時 於:焼肉キング 23名参加 幹事 三村)
- 12月17日(日) 3名 森を守るボランティア体験 伐倒体験(担当 山田、吉田、三村)
- 12月20日(水) 13名 炭小屋内作業(ドラム缶窯炭出し、SF準備、製材置場片付、炭小屋の片付清掃他)

2. 運営会の報告(於:炭小屋 12月16日(土) 12:30~13:00)

- (1)忘年会について説明 本日 15:00~17:00 担当 三村
- (2)友の会望年会一実施要領で説明 12月23日(土) 担当 吉田 スタッフ 武田、大越、張間
9時 センターに集合 全員でZFC分担の道具運搬
9時半 開始 13時半 片付開始 閉会 14時
- (3)ZFC納会 望年会終了後 炭小屋にて実施 新年活動開始は1月6日(土)
- (4)たたら製鉄トライアルについて 担当 関根
- ①11月25日(土)実施結果、炉下部目地部分に隙間が生じ、炎が噴出!最後までノロの流出なく終了。炉解体したところ、ノロ溜まりまで落ちずに途中でケラ(?)を発見!
ケラ(?)一重さ2.42kg体積400cc比重6.02 断面確認のため切断 担当 鈴木、工藤
断面観察一鉄らしき光る部分と光らない部分及び空気穴が混在。一炭小屋に保管中
- ②再挑戦の意向一今回の不備を改善し、記念行事に備える。
実施予定 2月10日(水) 費用は当初の友の会の予算で賄う。
- (5)ZFC通信のコラム投稿予定 12月 池澤 1月 赤羽 2月 山田 3月 藤原 4月 谷垣
- (6)花王分物品の購入状況など報告。担当 吉田、兼武 未購入「万力」のみ
- (7)イオン未来の地球フォーラム 1月20日(土)13:00~17:00 場所 安田講堂
助成金申請者全てに案内された。事前登録制で申込必要! 参加者 星隈、谷垣 2名
- (8)購入品の了解得る ①製材用ワソール ドラム・ハンドル ②ドラム缶窯内部測定用温度計
- (9)今後の活動計画 年間活動計画表を掲示版に掲示していますのでご確認ください。運営会の報告(於:炭小屋 11月18日(土) 13時~14時)

3. 12月、1月活動予定

- 12月23日(土) 友の会望年会、ZFC通信印刷発送、納会(友の会望年会終了後)
- 1月 6日(土) 活動始め、SF準備
- 1月10日(水) 炭小屋内作業(SF準備など)
- 1月13日(土) 畑PJアベマキ伐倒(ドラム缶炭焼き用)、竹林整備、製材、SF準備
- 1月17日(水) 炭小屋内作業(SF準備など)
- 1月20日(土) 炭小屋裏檜伐倒、池ノ上草刈、SF準備
保全管理フォローアップ(テーマ:野鳥 参加 藤原、吉田、関根、山田)
- 1月21日(日) 友の会定例会(三村、谷垣)、理事会(関根、吉田、谷垣)
- 1月24日(水) 炭小屋内作業(SF準備など)
- 1月27日(土) 炭小屋裏檜伐倒と引揚搬入、クヌギ林草刈(大越、赤羽他)、SF準備、運営会
- 1月31日(水) 炭小屋内作業(SF準備など)

以上